

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



初夏の夜空に蛍が舞いました ほたるの里でほたるまつり



▲ステージや出店は、子ども連れの家族などでにぎわっていました▲

ほたるの里で5月26日、27日に、ほたるまつりが開催されました。本木川の上流にあるほたるの里では、毎年5月下旬から6月上旬にかけて蛍の乱舞を見ることができ、多くの人が訪れています。

2日間の祭りは、両日とも好天に恵まれ、屋台の出店や蛍についてのお話会、メインイベントであるほたる鑑賞会などが催されました。1日目は、ステージが設けられ、和太鼓や歌によるパフォーマンスで、楽器の音色や歌声が響き渡りました。

ほたる鑑賞会では、遊歩道や階段にキヤンドルが灯された暗闇の中、蛍が現れるのを待ちました。午後8時頃から少しずつ蛍が舞い始め、この日は条件があまり良くなく、蛍はあまり多くはいませんでしたが、美しい蛍の光は、子ども連れの家族や撮影をしている人たちを楽しませていました。

美しく咲き誇る菖蒲 宮地嶽神社の江戸菖蒲初刈り神事



▲厳粛な雰囲気の中行われた神事

宮地嶽神社で5月27日から6月11日まで菖蒲祭りが開催され、百種、10万株の菖蒲を見にたくさんの方が庭園を訪れました。また、5月31日には初刈り神事が行われました。神事では、神職が菖蒲を刈って、紫色の美しい装束をまとった巫女が舞い、菖蒲を奉納しました。また、期間中は、境内に続く階段や拝殿の前、JR福間駅の構内にも美しい菖蒲が飾られ、通る人たちを楽しませていました。

とっさの判断が命を救う 溺れた高校生を救助して表彰



▲感謝状を渡された井ノ上さん(中央)

津屋崎漁港で溺れていた男子高校生2人を救助した井ノ上正徳さん(新町区)が、6月6日に宗像地区消防本部から表彰されました。5月17日、井ノ上さんは漁船で漁港に戻ると、溺れている2人と「がんばれ」と叫ぶ友人たちの声に気づきました。漁船で2人に近づくに救命胴衣を手渡しして岸辺に誘導し、救急車を呼びました。井ノ上さんは「潮が速い場所だったので、助かってほっとした」と笑顔で語りました。

福津の海をみんなできれいに

ラブアーススクリーンアップ2017ふくつ

ラブアーススクリーンアップ2017ふくつが5月21日に開催されました。「地球環境と地域行動」をテーマに、市民と事業所、市が



▲福間海岸には513人が参加し、540kgの可燃ごみが回収されました

共働で毎年行う海岸の一斉清掃活動です。市内5か所の海岸や干潟に、自治会や市内外の事業所、家族連れなど1117人が参加しました。当日は快晴で暑さを感じるほどでしたが、海岸のごみを拾い集め、5つの会場で回収されたごみの総量は2940kg。去年より300kgほど減っていました。毎年参加するという参加者によると「今年のごみが少ないね」とのことです。地域の人たちの日頃の清掃活動が実を結んでいるようです。

昨年、市内の海岸で5年ぶりにアカウミガメの上陸・産卵が確認されました。今年も多くの人のおかげできれいになった福津の海岸に、アカウミガメが帰ってくるのが期待されます。

これからも楽しく前向きに 若木台福寿会が設立40周年



▲たくさんのお賓の方がお祝いに駆けつけました

設立40周年を迎えた若木台福寿会の記念式典が、5月20日に行われました。福寿会は旧福間町で早くから老人会を立ち上げ、現在会員数は91人です。式典では踊りや琴の演奏も披露され、奥野フジ子会長は「活動を支えてくれた会員や地域の方のおかげです。楽しく前向きに活動していきたい」と語りました。

お気軽にご相談ください 人権擁護委員に表彰状



▲市長を訪問した山田さん

市の人権擁護委員を務める山田宏子さんが、全国人権擁護委員連合会から表彰を受け、6月9日に市長に報告しました。7月で活動10年目を迎えた山田さんは、市民の人権に関する疑問や悩みの解決に尽力しています。「相談者の気持ちが少ないでも楽になるように、今後も心がけたい」と語ってくれました。